

科 目 名		学 年	
経営工学IB:Management Engineering IB		4B	
教 員 名 挾間 雅義 HASAMA Masayoshi			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	講義・後期
学 修 単 位		○	
授 業 概 要			
<p>前期に引き続き、経営工学IBはオペレーションズ・リサーチの習得をする。前期の内容と比べるとやや複雑な内容で、数学の知識が必要とされる内容が多いが、数学の基礎的な復習をしながら進めていく。数学とは言っても“経営”や“情報”で生じる問題を解決するための手法として利用する数学であるため、授業をきちんと聞いておけば難しい内容ではない。</p>			
到 達 目 標		評 価 方 法	
<p>(1)数理的な手法(在庫管理、待ち行列理論)のやや複雑な分野の理解をする。          &lt;中間試験までの内容&gt;          (2)現実のさまざまな問題に対して適用ができる。          &lt;中間試験以降の内容&gt;</p>		<p>①中間試験(30%)、②期末試験(30%)③自学自習レポート(40%)によって評価する。</p>	
学 習 ・ 教 育 目 標		(E)②	JABEE基準1(1)
		(d)-(2)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	在庫管理 I	経営工学IB講義内容、在庫管理の必要な理由、経済発注量
	第2	在庫管理 II	発注方式に関するメリットデメリット
	第3	在庫管理 III	演習問題
	第4	待ち行列理論 I	待ち行列の性質、 Kendall記号、単数窓口モデル
	第5	待ち行列理論 II	複数窓口モデル、演習問題
	第6	ここまでの練習問題	数学の知識(微積分、在庫管理と待ち行列の中間試験対策)
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
	第8	階層型意思決定法	ウエイトの付け方、計算方法、固有値、行列の知識の確認
	第9	決定分析法 I	決定タイプ、種々の意思決定基準について
	第10	決定分析法 II	リスクおよび不確実なもとの意思決定法
	第11	決定分析法 III	条件付き確率、情報の価値
	第12	順序付け問題 ①	生産スケジューリング法
	第13	順序付け問題 ②	
	第14	練習問題	経営工学IBのまとめ
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		課題プリントを2回(第6回、第13回)出題する。課題とは別に練習問題を毎回配布する	
関連科目		経営工学IA、数学関連科目(確率、部分積分)	
教科書		毎回、プリント資料(板書に対応)を配布する	
参考書		OR入門 意思決定の基礎 小和田正 沢木勝茂 加藤 豊共著	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考		高専の数学(森北出版)で数学的な知識の復習をしておくとい	